

平成28年度地域相談支援フォーラム

福島県がん診療連携協議会 相談支援部会



平成28年11月12日

いわき市立総合磐城共立病院
がん相談支援センター
ソーシャルワーカー 會田 悦子

福島県の特徴



福島県にあるがん診療連携拠点病院は都市部に集中する傾向にあり、相双地域や南会津地域は、がん相談の空白地域となっている。

原発による避難の問題、過疎化の問題など地域によって抱える問題は様々であり、療養場所や治療の選択においても地域の実情に即した支援が必要である。

設立経緯

平成19年8月21日「福島県がん診療連携協議会」発足

「福島県がん診療連携協議会設置要綱」

(部会)

第6条 協議会に、協議会の運営を円滑に行うため、部会を置くことができる。

上記の要綱に基づき、平成19年12月に「相談支援部会」が発足

部会長は医師だが、各拠点病院の相談員が部会委員となり、実務者レベルでの話し合いができる部会が発足した。

強み

部会長(医師)を中心に、部会発足当初から実務者が部会委員となり、顔の見える関係を構築してきた。

- ・拠点病院相談員
- ・支援団体(患者会、NPO法人、医療ソーシャルワーカー協会)
- ・オブザーバー(福島県、NPO法人など)

拠点病院のほとんどが民間病院であるため、人事異動による部会員の移動は最小限である。

指導者研修、スキルアップ研修に積極的に参加している。



相談員研修実施状況

第1回 平成25年11月30日

「実践から学ぶがん相談支援のあり方 ～がん相談支援のプロセスを踏まえて～」

第2回 平成27年1月21日

相談支援部会内 事例検討研修会

第3回 平成27年6月6日

「～がん難民をなくすために～」

第4回 平成28年6月12日

「その人らしい生き方を支援できる相談員になるために」



専門研修実施状況

・ALT(成人病T細胞白血病)講演会(平成23年12月10日)

「ATL(成人病T細胞白血病)の医療相談について」

講師:小山 一英先生 (福島県立医科大学附属病院 循環器・血液内科)

・がんサロン支援のための研修会(平成25年2月23日)

「がんサロン開設・運営と行政への働きかけのノウハウについて

～7位1体から10位1体へ進化～」

講師:納賀 良一氏 (島根がんサロン支援塾実行委員会委員長)



活動内容

平成28年度より2つのワーキンググループ立ち上げ

広報ワーキンググループ

- ・出張相談会の企画
- ・がん相談支援センター広報ポスター作成
- ・地域療養冊子作成検討

研修ワーキンググループ

- ・福島県がん相談員研修の企画
- ・地域相談支援フォーラム参加
- ・指導者研修、フォローアップ研修参加

広報活動の充実

- ・平成22年に相談支援部会でがん相談支援センター広報ポスターとチラシを作成し、各拠点病院への設置の他、県内の医療機関へ送付

→今年度新たにポスター・チラシ作成中
効果的な活用方法については更に検討が必要



出張相談会

がん相談空白地域へのアプローチ

初の試みとして、南会津地域での「出張がん相談」と
「特別講演会」を開催

主催：福島県がん診療連携協議会相談支援部会

共催：南会津町

後援：周辺町村・南会津医師会

寒さ厳しい南会津の地へ 私たちの熱い思いを届けて来ました！



目標

①拠点病院の相談員に限らず、福島県内のがん相談に携わる相談員を対象とした研修を継続して行い、県内のがん相談の質の担保と底上げを目指す。

(3年ごとに長期的な研修目標を掲げ、それに添って毎年研修を企画していく)

②PDCAサイクル確保に向けた話し合いを持ち、部会全体として取り組む。

③がん相談空白地域への継続的なアプローチを実施する。

(出張がん相談 関係機関との連携)

④県や患者会、支援団体等関係機関との連携を強化していく。

⑤積極的にがん相談支援センターのPR活動を行う。

ご清聴ありがとうございました



福島県がん診療連携協議会 相談支援部会は
これからも目標にかけて
一致団結していきます！

